

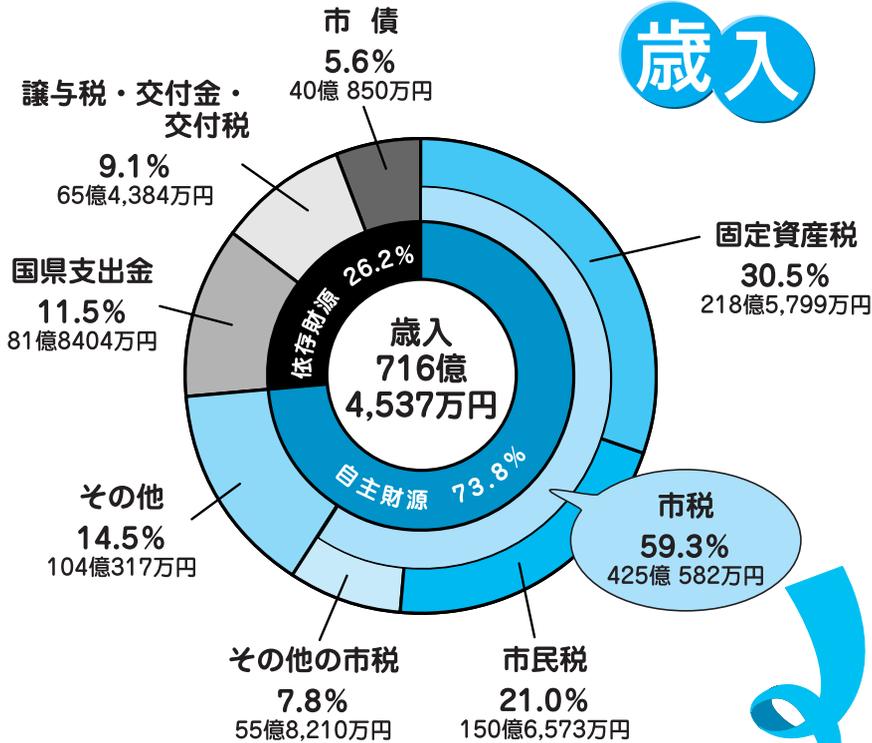
決算報告

富士市の財政事情

平成17年度の富士市の決算について報告します。  
 皆さんの納めた税金が、この1年間でどのように使われたのかを確かめてみましょう。

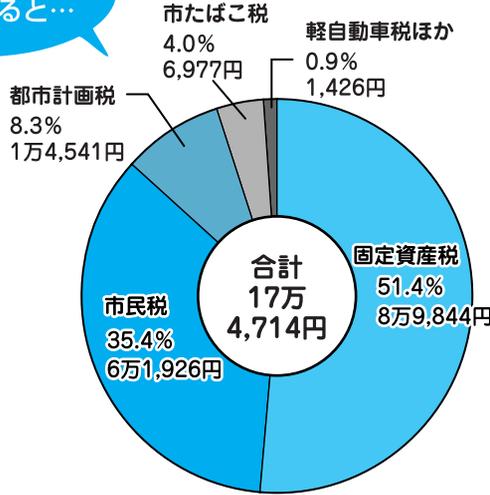
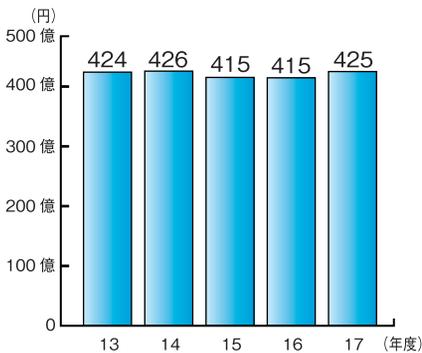
一般会計と各種会計決算

歳入



市税を市民一人当たり  
 に換算すると…

過去5年間の市税収入の推移



歳入の根幹となるのは市税  
 歳入の6割を占めるのは、市民や企業の皆さんから納めていただく市税です。平成17年度の市税の決算額は、約425億円で、前年より約10億円の増加となりました。  
 これは、税制改革により個人市民税がふえたことや、製造業を中心とした企業収益の回復により法人市民税がふえたことが要因に挙げられます。

用語の説明

- 歳入** 年度内に入ってきたお金。
- 歳出** 年度内に使ったお金。
- 自主財源** 市が独自で徴収することができるお金。市民税、固定資産税、使用料や手数料など。
- 依存財源** 自主財源に対して、国や県などから入ってくるお金。国庫支出金、県支出金、地方交付税、地方譲与税、自動車取得税交付金、市債など。
- 市債** 市が大きな建設事業などを行うため、国や銀行などから長期にわたって借りるお金。
- 国・県支出金** 特定の目的の財源として国や県から交付されるお金。



## 特別会計決算

歳入 538億6,006万円

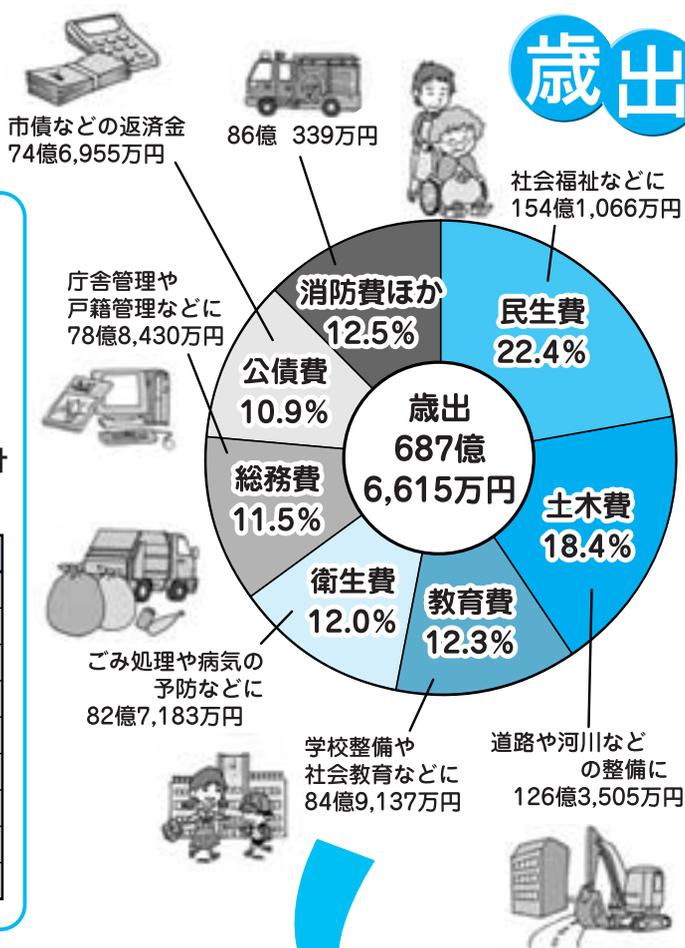
歳出 528億5,215万円

富士市には18の特別会計があります。

ただし、表中では内山特別会計などの財産管理特別会計(全9会計)を省略しています。

特別会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業	190億9,428万円	188億8,455万円
老人保健医療事業	149億7,098万円	149億1,029万円
介護保険事業	92億5,694万円	92億2,146万円
下水道事業	82億9,949万円	82億8,892万円
新富士駅南地区土地区画整理事業	2億3,703万円	2億3,263万円
墓園事業	4億5,974万円	1億5,466万円
地方卸売市場事業	1億5,382万円	1億5,035万円
駐車場事業	1億 57万円	9,786万円
公共用地先行取得事業	8億2,175万円	8億2,175万円

## 歳出



## 企業会計決算

### 水道事業

事業収益合計 28億 125万円

事業費用合計 24億9,939万円

純利益 3億 186万円

### 病院事業

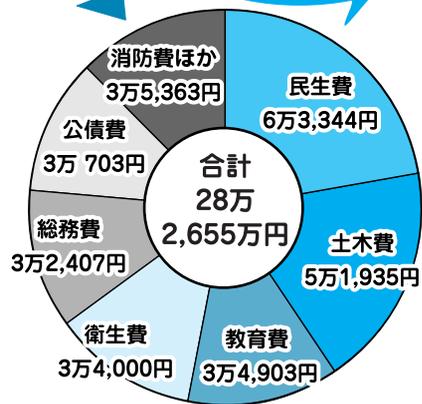
事業収益合計 111億9,049万円

事業費用合計 116億4,842万円

純損失 4億5,793万円

民生費が4年連続で歳出のトップ  
歳出を目的別に見ると、福祉関係の費用である民生費が22・4%を占め、4年連続で一番高くなっています。民生費は、本格的な少子高齢社会の到来を受け今後も高水準で推移することが見込まれます。

市民一人当たり  
に換算すると...



市の一般会計を家庭の家計簿に例えると...

市の財政を性質別にし、単位を億円から万円に置き換えました。

市の一般会計	
歳入	716億円
歳出	688億円
●義務的経費	290億円
人件費	146億円、扶助費 69億円
公債費	75億円
●その他の経費	277億円
物件費	99億円
貸付金	30億円、補助費等 44億円
繰出金	83億円、その他 21億円
●投資的経費	121億円

家庭の家計簿	
収入	716万円
支出	688万円
●義務的支出	290万円
税金や社会保険料など	215万円
ローンの返済費	75万円
●日常生活費	277万円
食費、光熱水費、家賃、教育費、冠婚葬祭費、仕送り、小遣い、娯楽費など	
●家の新築費や車の購入費など	121万円

## 健やかで温もりのある暮らしづくり

予防接種	2億1,556万円
高齢者への配食サービス事業	2,353万円
放課後児童クラブの運営	9,158万円
乳幼児医療費助成	4億2,645万円
消費生活相談事業	1,044万円



市役所2階にある消費生活相談センター

## こころかよいあう豊かな人づくり

小・中学校校舎などの耐震改修	5億4,421万円
市民活動センターの開設	2億6,058万円
青少年の船事業	5,758万円

平成17年10月にオープンした富士市民活動センター



(仮称)富士交流プラザの実施設計	1,964万円
防犯のまちづくり推進事業(防犯パトロール車の購入など)	2,235万円

## 安全で心地よい快適な街づくり

DMVの導入検討事業	1,083万円
新富士駅周辺整備推進(B地区多目的施設設計費など)	4,328万円
旭町富士宮線(バイパス)新設事業	2億6,046万円
防災ラジオの配布	7,911万円
富士西公園整備事業	2億2,052万円

富士西公園遊具や芝生広場などがある富



岩本山団地建設事業	1億2,988万円
-----------	-----------

# 平成17年度に行った事業

皆さんは、昨年度、どのような事業が行われたかご存じですか？

昨年度実施した事業を、第4次総合計画に位置づけられた5つの柱に分け、主なものを紹介します。

## 人と自然が調和する環境づくり

「ISO14001」の認証取得	431万円
新エネルギー推進事業	2,856万円
ペットボトル回収事業	619万円
新環境クリーンセンター建設の積立	1億90万円
富士地区地球温暖化防止モデル事業	9,804万円



丘小学校に設置された太陽光と風力のハイブリット発電装置

## いきいきと働ける仕事づくり

企業誘致・企業留置の推進	1億7,235万円
県単独土地改良事業(排水路改修など)	3,320万円
「観光交流まちづくり計画」の推進	2,295万円



梅と桜の見ごろにシャトルバスを走らせる「岩本山・雁堤プロジェクト」

中心市街地活性化事業費補助金	594万円
----------------	-------

「楽々市」や「健ブリッジ大学」などが行われている富士本町商店街



林道整備(芽尾根線、鶴芝下線ほか)	1億3,333万円
-------------------	-----------

# 富士市の財政状況

富士市の財政状況はどうなっているのでしょうか？

富士市財政の特色をお知らせします。

年々、借入金は減少している

## 借入金の残高

(市債現在高・普通会計ベース)

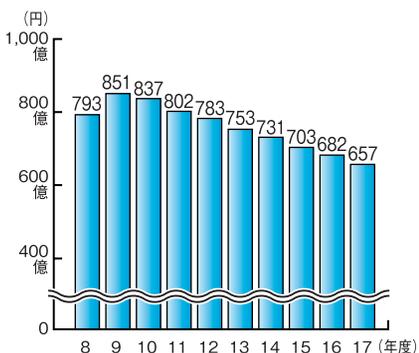
市債は市の借入金で、将来にわたって利用される道路や学校などの整備資金を将来の世代にも公平に負担してもらうためのもの。家計でいうと、ローンに当たります。

市は、平成9年度以降、大規模事業が一段落しています。現在は、新たな市債の発行額を抑制するとともに、繰り上げ償還や行財政改革による歳出削減など、各種施策を通じ、市債残高の圧縮に努めています。

平成17年度の市債残高は657億円で、昨年より約4%減少しました。



市債残高の推移



新しい仕事をするゆとりがある

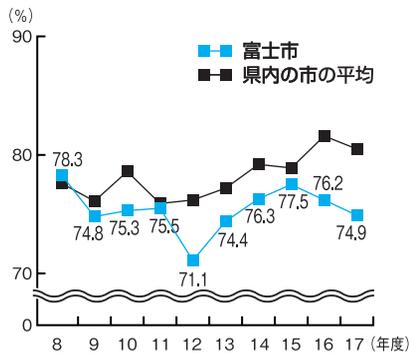
## 財政の弾力性(経常収支比率)

経常収支比率は、財政の構造の弾力性を判断するための指標です。

歳出の人件費や公債費などの毎年経常的に支出される経費が、市税などの毎年経常的に入ってくる収入に対して占める比率です。

この比率が高いほど財政が硬直していて、新しい仕事に使えるお金が少ないことを意味します。一般的に70〜75%程度が適正水準で、80%を超えると弾力性が失われつつあると言われています。富士市の平成17年度の数値は74.9%で、同規模の市と比べ、ゆとりがある財政力を持っていると言えます。

経常収支比率の推移



必要な経費は自前で賄っている

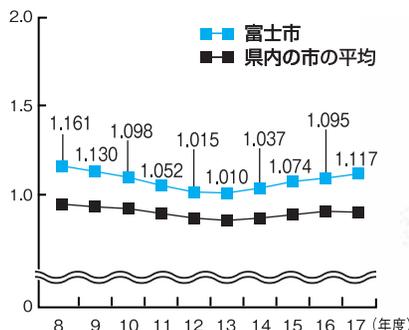
## 財政の豊かさ(財政力指数)

財政力指数は、財政の豊かさを示す指標です。国が定めた基準の必要行政経費額に対し、市税などの収入の見込み額がどれだけあるかを比率で示した数値。数値が「1」を下回ると、不足分が国から普通交付税として交付されます。

普通交付税は、毎年95%程度の市町村が交付を受けています。富士市は、平成11年度と12年度を除き、不交付となっています。



財政力指数(3年平均)の推移



普通会計バランスシートなど財政状況について詳しくは、富士市ホームページに掲載しています。



財政課

TEL (55) 2725

FAX (51) 1479

E zaisei@div.city.fuji.shizuoka.jp

URL <http://fujishi.jp/cityhall/zaisei-b/zaisei/index.htm>